

国境・民族・文化を超えて共に生きる心豊かな社会の構築に寄与し、市民による福祉文化の創造をめざします。



こころの家族

2026年3月
368号 (隔月刊)

地域社会との関わり

木浦で理事会が終わったあと、職員が一軒のカフェへ案内してくれた。
ケーキを販売している店で、看板には PASCUCCI (パスクッチ) チェーンと書かれている。その下に、こう記されていた。
「共生分かち合いの店」
その言葉を見たとき、私は胸が温かくなった。



旧正月に駐神戸大韓民国総領事館の李相烈総領事が訪問され、ご利用者にプレゼントをくださいました。(故郷の家・神戸にて)

木浦市と別府市が姉妹都市となり、交流が始まった頃、ある木浦の経営者は、「別府の親切を学びなさい」と息子を別府インターナショナルへ送り出したという。その息子は別府で学び、木浦に戻り、PASCUCCIの店舗を開き、社長として働いている。
彼は地域社会のために何かしたいと考え、共生園の42人の子どもたち一人ひとりの誕生日に、誕生日ケーキを届け続けている。

という。一人一人の子どもの誕生日に。その日に。
それは単なる寄付ではない。「あなたを忘れない」という市民からの心のメッセージである。

「故郷の家」でも、毎月誕生日会を開き、歌や踊りで皆で祝っている。
しかし、行事として祝うだけでなく、一人ひとりに誕生日カードを書き、施設長や職員が直接「おめでとう」と伝えることも大切である。

ところが、施設ではなく、地域に住む市民が、家族と離れて暮らす一人一人の誕生日を覚え、その日にケーキを届ける。私はまるで宝物を見つけたような気持ちになった。

人は皆、良いことをしたいと思っている。けれど、何をすればよいのか分からず、一歩を踏み出せない人も多い。

木浦の小さなカフェで、世界でいちばん丁寧な愛の贈り物が、静かに子どもたちへ届けられている。
確かな、地域の愛である。

「故郷の家」は地域社会と、どう関わっているのか。

社会福祉法人こころの家族
尹基 (Tsuchi Motoi)

故郷の家・東京 10周年記念 金嶋昭夫コンサート開催

1月21日、「故郷の家・東京」開設10周年記念行事の第一弾として「金嶋昭夫新春コンサート」が、同施設内地域交流スペースにて開催されました。

民団創団80周年の年に

公演前に、金嶋さんのご希望により施設見学の時間を取

りました。

ユニットや機械浴等設備の見学後、お年寄りと同じメニューの昼食を召し上がりながら「きれいで、過ごしやすい環境が整っていますね」「みなさん、穏やかで、明るく、幸せそうですね」と金嶋さん。

入居者さんとご家族、そし



て地域の方々計150名余の観客を前に、ご自身の楽曲に加え、日本の演歌や韓国歌謡14曲を熱唱。情熱的で温かいその歌声は一同の心を魅了。アンコール曲では客席を巡り、お年寄りと握手、ハイタッチと、大サービスでした。

「皆さんの表情を見ながら楽しく歌わせていただいで、私が元気をいただきました」と。

公演後に、田内基理事長より寄せ書きと感謝状を渡され「『民団創団80周年』『故郷の家・東京開設10周年』と記念の年に公演が出来て良かった

です。機会を作ってまた来ます。歌わせてください」とおっしゃっていただきました。お待ちしております。ありがとうございます。

76歳でデビュー 異色の演歌歌手

金嶋さんは異色の経歴を持つ演歌歌手です。

『新宿しぐれ』をリリースし、日本コロムビアから演歌歌手としてデビューしたのは76歳のとき。

現在はBS12「金嶋昭夫の元気！演歌大好き」の司会（毎木曜日4時30分）も務めています。金嶋観光グループの代表取締役会長という実業家でもあります。同グループ



多方面で活躍する金嶋さん



感謝状を渡されて

は飲食店（「隠れ野」「金のイタリアン」）経営、不動産業、そしてカラオケルーム「747」を日本で最初にオープンさせ、カラオケブームの火付け役となりました。

慶南科学技術大学名誉経営学博士でもあり、2016年に大韓民国国民勳章「冬柏章」を受章、2023年にはグループ会社の一つ（株）秀美が日本赤十字社への長年の寄付により紺綬褒章を受章しました。

社会貢献活動も熱心に

2023年4月に出版されたノンフィクション『恩送りの人生』の中で、これからの人生を日本と韓国での社会貢献活動に捧げると宣言し、「金嶋昭夫基金」を設立。児童養護施設や医療機関、日本赤十字社、能登半島地震などへの寄付や義援金を送るなど社会貢献活動にも熱心に取り組んでいます。

金嶋さんが所長を務める「みんだん生活相談センター」では、各分野の専門相談員が、在日韓国人の抱える法律・行政手続きに関する不安や悩みの相談等に対応しています。

ソウルの国立劇場に感動の輪

田内千鶴子の生涯描いたミュージカル「共生、園」



▲ミュージカルの1シーン。中列、右から3人目、白いシャツの女性が田内千鶴子役のソン・サンウン(写真〓韓国国立劇場提供)

小淵総理の梅の木 日韓和解の象徴として

韓国孤児の母、田内千鶴子の生涯を描いたミュージカル「共生、園」が昨年12月11〜14日の4日間、韓国国立劇場で韓国国交正常化60周年記念事業として上演され、のべ2000人を超える観客が感動に胸を熱くした。バリアフリーの観点からも注目された。

朝鮮日報は「32年間、木浦の孤児たちにご飯を食べさせ、服を着せてきた日本人をご存じですか」との見出しでミュージカル「共生、園」の成功を大きく取り上げた。

——韓国国交正常化60周年記念音楽劇「共生、園」(脚

本・チョン・ジュン、作曲・ファン・ギョングン、演出・キム・ダルチュン)は、「孤児の母」尹鶴子(1912〜1968)女史の不可思議な献身の人生を、舞台言語として再解釈する。近年さらに進化している「バリアフリー公演」として制作されたことも意義深い。観客は、眼鏡のように装着すると字幕が見える「スマートグラス」を使って字幕のサポートを受けられる。手話通訳者6人が俳優9人とともに舞台に立ち、単なる聴覚障害者向けの「字幕」ではなく、劇中人物の影、あるいは作品の一部として上演に参加する形式だ。(中略)

『共生、園』は、時間を行き来する演劇的装置によって、過去と現在、夫と妻の姿を映し出す。解放後、暴力事件を起こした子どもたちを許してほしいとひざまずいて請う尹女史の姿が、植民地時代に支援を求めてひざまずく夫の姿と重なり合う。

尹女史の物語は、金洙容監

督による1995年の日韓合作映画『愛の黙示録』にもなったが、日本文化開放前だったため、韓国では公開すらされなかった。しかし、この映画を観た当時の日本の小淵恵三首相が、2000年3月に梅の木20本を共生園に贈り、日韓和解の一つの象徴となった。この音楽劇で共生園の子どもたちなど多様な役柄を担うアンサンブルキャストの6人は、全員「梅」と呼ばれる。彼らが歌う6声部のアカペラ

素晴らしい歴史的ミュージカル

小川容子

今思い出しても素晴らしかったミュージカル。障害者への配慮や日本語字幕。手話の方が、演技を邪魔しないながら、常に寄り添って同じ行動をして二重に大変な立場なのだと思いました。

物語の飽きさせない、謎解きのような構成もさることながら、パンフレットの点字にしても、とことん弱者に寄り添った全ての心配りに感動しがあります。日本語の字幕もそうです。ハンゲルの字幕もそうです。これほど行き届いたミュージカルを見たことがありません。共生園を意識

も新鮮な試みだ。脚本を書いた作家のチョン・ジュン氏は「日々、夫の不在を生き抜き、より誠実に、より強く踏ん張ってきた尹女史の日々が、煉瓦のように積み重なって周囲の多くの命を生かす囲いとなり、その命がまた別の命を生かしていく。人生とはそうやってつながっていくのではないかと思つた」と語った。(2025年12月12日付朝鮮日報)イ・テフン記者〓から一部抜粋。

しての優しさなのでしょう。そこまで劇団員を強く導いた共生園の存在と、田内千鶴子さんの存在が、これほどまでに完璧なミュージカルに仕上がることができたのでしよう。

素晴らしい歴史的ミュージカルに出会えたこと、感謝と感動でした。その現場に居させてくださったことに感謝しております。(フリーランス作家、テレビ番組の構成作家。田内千鶴子が紹介されたテレビ番組「知ってるつもり?!」等を手がけた)

「泣き言やグチは嫌い」

故郷の家 宮崎泰さん（100歳）

昨年12月、故郷の家で「100歳のお祝い会」が開かれました。主人公は、12月16日に誕生日を迎えた宮崎泰（やす）さん。内閣総理大臣からの祝い状と記念品も届いた会には神戸から次男・秋彦さんご家族が駆けつけました。積極的に職員たちに話しかけてくれ、いつも笑顔で施設の人気者の泰さんのため

に、故郷の家の職員たちも華やかに会場をディスプレイ。ご家族や職員が共に、元気に100歳になった泰さんを称え楽しい時を過ごしました。次の週には泰さんのご長女のご主人とその娘さん2人、そしてひ孫たちが名古屋から。2週に渡り家族全員が集まり、にぎやかな祝賀会が行われました。



の配給に並ぶなど家族のために労苦をいといませんでした。「兄たちはよう勉強できただけど私はおてんばさんやっ」と笑います。

堺で親族と営むプレス関係会社で営業をきりもりするご主人と結婚したのは20歳のとき。2男1女に恵まれました。高度成長時代、忙しく働く夫とともに、泰さんは家庭を守りながらも、しっかりと子供たちを育てあげました。

「両親は忙しい中でも家族と過ごす時間をいつも大切にしてくれ、家族で旅行やハイキング、外食などを楽しみました。母は子どもの誕生日には必ず『晴れの食事』としてステーキやケーキ、プレゼントを用意して祝ってくれました。今もその思い出は家族の宝物です」と、次男の秋彦さん。孫が生まれてからも「4人の孫たちの誕生日もきちんと覚えていてプレゼントを準備

備していたことも偉いものだと感心します」とも。泰さんが体調を崩すまで、子どもや孫たちの誕生会を開くことは宮崎家のルーティーンでした。

泰さんが料理と共に得意なことは若いころから続いていた編み物。秋彦さんは「母作の3人お揃いのセーターは、自慢でもありました。少し気恥ずかしかった記憶も」と、照れます。

50年前、大阪の居宅とともに泉北ニュータウンにも新しく居宅を構えました。新築した家でもお正月には結婚した子どもや孫たちが集まり、おせち料理や鍋を囲んで新春を祝いました。

15年前、ご主人が亡くなったからは泉北の居宅で一人暮らしをしながら家の近くのデイサービスを利用していました。少し認知症症状が出始め、骨折したこと、2021年に縁あって故郷の家のショートステイを利用、コロナ禍もあり2023年からここでの暮らしが始まりました。

実は、入所のきっかけはご長男が亡くなったことでした。長男は両親から継いだ大

阪の実家に住み、離れて暮らしていましたが、一人暮らしをする泰さんをずっとお世話していました。長男が亡くなったあとと立て続けに突然、ご長女も亡くなってしまいました。でも、そのことをご本人は知りません。

秋彦さんは「毎週のように故郷の家の母に会いにいきますが、母はいつさい聞かない。何か感づいているとは思いますが言わないんです。母は今、一日一日、その瞬間瞬間を生かしていただいているのだと思います。その一瞬を母が喜んでくれたことを私たちは嬉しい記憶として101歳、102歳とまだまだ長生きしてほしいと思っています。その母を家族として支援してくださっている故郷の家の皆様には本当に感謝の念を禁じ得ません」と、話します。

家族や人のお世話をし、人のお付き合いは主婦の勤めだと、繊細な気遣いをしてきた泰さん。今は「楽しく生きるのが1番！ 難しく考えたら楽しく生きられへん。泣き言やグチは嫌い。あつさりとはばつぱりと生きましょ！」との名言の数々を言葉にしてられています。



家族に囲まれ、花束を手にした宮崎泰さん

泰さんは大正14年、大阪は天下茶屋の老舗本屋の娘として生まれました。2人の兄がいる末っ子女の子でまさに「本屋の看板娘」。学校の教科書も取り扱うなど手広く商売をしていた本屋で、みんなに可愛がられ育った泰さん。編み物をしながら販売を手伝ったり、「自転車で本の配達にもよう行った」と懐かしみます。戦争で天下茶屋一帯が焼け野原になったときにも食料

「世界孤児の日」
制定推進委員会総裁を務めた

イ・スンジェ（李順載）さん

「世界孤児の日」制定推進運動の趣旨に賛同、2020年には推進委員会の総裁を引き受けてくださったイ・スンジェさんが2025年11月25日に逝去



2020年1月15日、「世界孤児の日」制定推進委員会総裁就任式にて（ソウル・プレスセンターで）

故郷の家・京都建設を
支援してくださった

アン・ソング（安聖基）さん

故郷の家・京都の建設計画時から理念に賛同し、寄付を呼びかけるCFにユ・ヨルさんやクォン・ヘヒョさんとともに無償で出演してくださるなど支援してくださった韓国国民俳優、アン・ソングさんが今年1月5日、逝去されました。享年74歳。

アン・ソングさんは子役のときから主に映画を舞台として活躍、「シルミド」など数々の作品に出演、受賞多数。日本の小栗康平監督作「眠る男」にも出演されました。葬儀は、韓国映画関係者による「映画人葬」として営まれました。

されました。享年91歳。

イ・スンジェさんは1934年生まれ。ソウル大学校哲学科在学中から映画・演劇の活動を始め、数多くのドラマや映画に出演、韓国を代表する俳優の1人として活躍。1992年には国会議員選挙で民主自由党から立候補して当選、国会議員も1期務められました。

「世界孤児の日」制定推進委員会の総裁就任挨拶では「私たちが苦勞した時期に受けた恩を返そうとする世界に向けた感謝の一環として（制定推進運動が）出発したということに共感し、この仕事の先頭に立つことにしました」と語ったイ・スンジェさん。ありがとうございます。ご冥福をお祈りいたします。

アン・ソングさん、ありがとうございます。ご冥福をお祈りいたします。



2008年10月、理事長や総括理事とともに、ほぼ完成した故郷の家・京都にて。左から2人目がアン・ソングさん

ミュージカル「共生、園」の 脚本家らが故郷の家を訪問



向かって左から Rina Lee さん、鄭濬（チョン ジュン）さん、黄京恩（ハン ギョンウン）さん

2千人の観客を感動に包んだ「共生、園」（3ページ参照）のミュージカルを日本でも再演できないかと、同公演を作りあげた韓国国立劇場の Rina Lee さんと脚本家の鄭濬（チョン ジュン）さん、作曲家の黄京恩（ハン ギョンウン）さんの3人が韓国から来日。2月4〜5日、故郷の家と故郷の家・京都を訪れました。

3人はミュージカル制作にあたって韓国木浦も訪問、日本式の家がまだ残る海と山がある街の風景などに刺激を受け構想を練り、田内千鶴子記念館で「田内先生が生きてこられた証を感じることができました」と、チョンジュンさん。

「故郷の家はとても温かい施設」と、3人はステキな笑顔を見せていました。

日本で、オランダで、奉仕活動続けて

インタビュー

池田 邦子 さん

国連の協議資格を持つ女性による国際ボランティア奉仕組織「国際ソロプチミスト」。その大阪南部支部「国際ソロプチミスト大阪・南陵」を設立し、様々なボランティア活動を行ってきた池田邦子さん。20年以上前から当法人各施設を訪れ、日本文化のおもてなしである「茶道」で、ご利用者にお茶と和菓子を振る舞う奉仕を続けてきています。今でも自宅でお茶の教室を開催し、竹芸にも挑み、遠いオランダでも日本文化を伝える池田さん。今号は「日本の文化大使」として活躍するたおやかな池田さんに登場いただきました。



——お茶の奉仕活動は故郷の家(堺)だけではなく神戸や京都にも行ってくださっている

池田 国際ソロプチミスト(ソロプチ)の活動として故郷の家(堺)で始めました。ご利用者さんが喜んでくださるので、個人的に神戸と京都にも伺っていました。以前は、自宅(和泉市)から着物を着て100人分のお菓子を携えて京都まで出向くくらい元気でしたが、今はそのバイタリティーがなくなっています。

——故郷の家・神戸の5周年や、故郷の家・京都竣工式でもお着物でのお茶のおもてなしをしてくださり、会場はとても華やかになり彩りを添えてくれました

池田 施設に月に1回は伺おうと頑張っていました。コロナ禍ではボランティアが中止になり、コロナ禍以降は予定していても「今はインフルエンザが流行して」と施設側から連絡があるなどで中止することも多くなり残念に思っています。

——故郷の家・京都にはお茶室があり、抹茶茶碗などのお道具も池田さんが寄付してくださった

池田 あの持ちちょうど、思いもしなかった年金が入ってね(笑)。「年金」で有り難いなあと、何か役に立つことに使いたい、故郷の家・京都のお茶室に使わせてもらったら、と思い立ちました。

——お茶のお稽古はいつから始められましたか

池田 佐賀県の実家にいた20歳の時です。裏千家で始め、結婚して少し遠のきました。下の子どもが生まれたときに再開しました。今は、茶名・紋許を戴き「裏千家正教授」のお免状ももらい指導できる立場。月に2回、自宅で教室を開き日本で英語教師をしているアメリカ人男性もお稽古にきています。

——九州の佐賀県から今お住まいの和泉市にいられた経緯を教えてください

池田 私は思春期の頃まで「食べる」ことに興味がなく痩せていて、すぐに風邪をひいたりと身体が弱かった。その姿を見ていた薬剤師だった父が、高校を卒業した私に「ここで食物や栄養の勉強しなさい」と栄養を学べる学校を勧めてくれ、福岡県の大学に進学しました。そこで栄養士の資格を取り、伊万里の病院の栄養士として務め始めました。

その病院にドクターとして来ていたのが主人・池田壽雄でした。当時主人は、九州大学医学部の医局員で、アルバイトで来ていました。話をするうちに遠い親戚だったことも分かり両家の勧めもあり結婚に至りました。

——和泉市に開業された経緯は

池田 主人の父も医師で、佐賀県の村で1軒だけの医院を開いていました。義父が亡くなり、本来なら主人が継ぐ予定だったのですが、あまりにも過疎地で、大阪で少し働いてから戻ろうと大阪で病院勤めをしました。働くうちに、和泉市ですごく流行っている病院があつたけど病院長が亡くなり困っている、という話があり、この地にきました。でも、開業したものの始めは閑古鳥でした。しばらくして地域の小児科の先生から赤ちゃん検診を頼まれ出かけてから地域の方々に知ってもらえることができ、昼も夜中でも患者さんがこられて一気に忙しくなりました。また、この地域に総合病院もなかった頃で、主人は往診にも出向き地域医療に奔走していました。医療法人・邦寿会「いけだ内科」として地域に親しまれていました。

「国際ソロプチミスト大阪・南陵」を設立

——ソロプチとの関わりは

池田 主人がロータリークラブに誘われて入会しましたが、病院が忙しく2年ほど辞めてしまいました。すると今度は私に「国際ソロプチミスト大阪・いけだ」からお誘いがあり、45歳で活動に参加させてもらいました。もつとボランティアらしい活動がしたいと、15年目に子クラブとなる「国際ソロプチミスト大阪・南陵」を私の思いを共にする4人と設立することになりました。

——2001年、当法人の田内文枝総括理事が出演した番組をご覧になつ

た

池田 そうなんです！ 著名人が少年・少女時代に通った母校(小学校)を訪問するNHKのドキュメンタリー番組「課外授業 ようこそ先輩」に出演されていた田内文枝さんの「自分にできることって何だろう」を観て「堺にこんな方があるんだ！目がキラキラ輝いていてすごい人！」と感激。すぐに国際ソロプチミスト大阪・南陵初の「スカウト」に故郷の家まで出向きました。尹基理事長も趣旨に賛同してくださり、それがご縁でした。

——国際ソロプチミスト大阪・南陵の活動を教えてください

池田 「明日に生きる子どもたちと共に」をモットーに奉仕活動が続いています。継続事業として2008年から地元和泉市・泉大津市の中学3年生を対象に「性感染症予防啓発出前授業」を行っています。授業を受けた学生は2万人を突破しました。

日本の性教育のリーダーや性教育のリーダーの産婦人科医の先生方が作成された「つながるBOOK」という冊子も配布しています。今は約10名の若いドクター達が性教育出前授業を担って下さり、私たちは教育委員会や学校のコーディネーター役をしています。

——素晴らしい活動ですね

池田 始めようと試みたときは、教育委員会や医師会の理解が得られず大変でした。でも、この時期の子どもたちに重要なことだと、粘り強く交渉しました。

——ほかの活動も教えてください

池田 性暴力救済センター「大阪SACHICO」への継続支援や、地域で活躍している登美丘高校ダンス部や成美高校中国獅子舞クラブへの活動支援、そして故郷の家や地域の老人施設へのお抹茶奉仕など地域に根差したボランティア活動をしています。



故郷の家・京都で

オランダでもボランティア活動を

——オランダにも年に1回行かれていたと聞きました

池田 これはソロプチの活動ではなく、個人のボランティア活動です。オランダに財団法人日蘭文化センターがあり、そこで日本の文化を紹介するコーディネーター役を10年に渡り行ってきました。お茶を振る舞い、和泉

の太鼓グループや竹芸作家の先生などをお連れして日本の文化を伝えてきました。

日本舞踊の名取をお連れしてその文化センターで「さくらさくら」を披露してもらった年がありました。すると観客の中で泣き出してアンコールを求めお客さんグループがいらして、2回踊ってもらいました。その方々は、第二次世界大戦中に日本軍のインドネシア占領下で生まれ、インドネシアがオランダ領だったことからオランダに渡った「戦争の子ども」、戦災孤児の方々だったことを後に知り驚きました。

それから、その方々がお父さん捜しに日本に来られた時は我が家に何人も泊まったこともありました。1947年生まれが最後でした。1年に1度政府が招待しお父さんを見つけた人もいました。京都や大阪にきたときは色々ご案内し歴史の一端を見たようでした。オランダのボランティア活動は60歳から72歳まで毎年続けていました。

——竹芸作家としての一面もお待ちです

池田 50歳の頃、堺市で4代続く竹の造形作家・田辺竹雲斎さんの個展を観にいったときにその美しさに惹かれ、しかも先生の手が綺麗で「やってみよう」と思いました。ところが教室に行くくと、大きな竹とノコギリと斧が用意されていて(笑)。竹芸は、竹を割いて材料から作っていく「竹削りが何年」という世界でした。力仕事でしたがカゴを中心に編み、毎年堺市展に入選していました。

——民生委員を務め、人のために歩み続けました

池田 4人の子どもたちがそれぞれ社会人になり、民生委員を引き受けました。それらすべて72歳で引退しました。6年前、夫・壽雄が亡くなりましたが病院は長男の欣生(よしお)が東京皮膚科・形成外科「大阪いけだクリニック」として引き継いでくれてます。

——故郷の家に長年ご奉仕いただいて感じることはありますか

池田 故郷の家の職員さんたちはみなさん温かく素晴らしい。お茶のご奉仕をしていると、「私も点ててみたい」「抹茶茶碗を洗うお手伝いをしたい」と言ってくくださるご利用者さんがいらしても職員さんたちが臨機応変に対応してくだりお手伝いもしてもらいます。私もいずれお世話になるのでよろしくね、と職員さんに伝えています。身体の続く限り、故郷の家でのお茶のボランティアは続けていきたいです。

(聞き手・横山まゆみ)

* (聞き手・横山まゆみ)

池田邦子(いけだ くにこ)
1943年生まれ。国際ボランティア奉仕組織「国際ソロプチミスト大阪・南陵」会員。大阪府保護協会元評議員。元民生委員。
2003年、「国際ソロプチミスト大阪・南陵」設立。大阪府和泉市と泉大津市の中学生に「性感染症予防啓発出前授業」を展開。性暴力救済センター「大阪SACHICO」の継続支援など支援活動数々。

おどる

堺・大阪・神戸・京都・東京

「故郷の家」各施設のホットな話題をお伝えします

※各施設のブログもご覧ください。QRコードからどうぞ！

今年も「獅子舞」がやってきました

1月11日、「中野区鷺宮エリア・介護ネットワーク有志」の方々から成る獅子舞の一行が訪れました。まずはホールで「獅子の舞い」。続いて一人一人の頭を囓んで「無病息災」。最後はお年玉をもらって、新年の儀式終了。お年玉は、事前にリクエストを頂いていたコーヒースティック、カルピス、ティッシュペーパー等々。それぞれ満面の笑み。

ホールに降りて来られない方々のために獅子がユニット廻り。故郷の家・東京の入居者さん全員「無病息災」です。



東京



神戸



「故郷の家神社」に初詣

鬼を追い払いました！

2月3日、恒例の節分の行事を行いました。突如現れた鬼に驚きながらも、ご利用者は勇気を振り絞って鬼を追い払い、福を招く楽しいひとときを過ごすことができました。



感染症の予防策として、元日に職員手作りの「故郷の家神社」をご利用者に参拝していただきました。「今年もよろしくお願います」と願いを込めて手を合わせ、お祈りされるご利用者の姿が見られました。参拝後は、ご利用者全員に御神籤入り福袋をお渡しし、新年から笑顔が溢れる一日となりました。



ようこそ ふるさとカフェへ

今年から月に2回「ふるさとカフェ」を行っています。メニューも飲み物(珈琲、紅茶、ジュース)と何種類かのケーキを用意。このから選んでいただけます。



みんなで鬼を退治!



2月3日の節分。故郷の家にも赤鬼、青鬼がやって来ました。ご利用者、職員が協力してカラーボールを鬼に向けて投げ、見事に鬼を撃退できました。

堺



京都



初詣に行きました



1月6日、8日と2日間に分けて、初詣に行きました。場所は学問の神様・菅原道真公と吉祥天女を祀り、受験合格・開運招福のご利益で知られる「吉祥院天満宮」。

到着すると、境内に車が数台停まっており、他の高齢者施設からも来ておられました。

職員が付き添い、順番に参拝します。

「家族、みんなが健康で元気に過ごせますように…」
「おいしいものがたくさん食べられますように…」 など、各々、お賽銭を入れ、鐘を鳴らしてから、真剣に手を合わせておられました。

最後に全員で記念撮影。皆さんにとって、良い1年になりますように。

故郷の家・京都では1月1日、お正月の午前中に新年祝賀会、午後からお年賀を持って、各人居者に挨拶回り、その後に希望者を募って、「書き初め」を行いました。
「書き初め」はお習字の得意な方から、そうでない方もおられました。思い思いに書き初めを楽しみました。
お手本で、「迎春」「初夢」「平和」「馬」などの言葉をテレビ画面に出し、それを参考にして、皆さん真剣に書いておられました。
ある入居者の方は、娘様と参加され、お孫様が受験ということもあって、「合格」と書いておられ、それを娘様が大事に持って帰られたのが、とても印象的でした。

思い思いに書き初めを楽しむ



共生園（養護施設） 世界に一つだけの手袋&モール人形作り

〔後援：(株) X4B・(株) PickVeryMuch〕

昨年12月21日、地域経済の活性化や地域社会との協業を先導している社会的企業2社のご支援により、特別な冬の活動が行われました。

寒い冬に手を温かく守ってくれる手袋に子どもたちの想像力をプラスし、かわいいキャラクターやハートなど好きな形のワッペンを貼って、個性あふれる世界に一つだけの手袋を完成させました。また、針金に柔らかい毛が巻かれたモールをねじったり曲げたりして、かわいい子犬も作りました。

慣れない手つきながらも、自分が作った作品を見て明るく笑う子どもたち。その姿を見られたのは支援者様の温かいお気持ちのおかげで、冬休みの思い出がまた一つ増えました。ありがとうございました。



共生再活院（知的障害者施設） 地域社会と共に歩む姪（ヨン）舞踊団の特別なステージ



「姪」は光り輝くという意味だそうです

昨年12月6日、共生再活院の「夢見る人々のフェスタ」で、水仙花合唱団所属のヨン舞踊団が美しい感動的なステージを披露しました。今回の公演はご利用者4名とボランティア2名によるもので、単に踊るだけでなく、互いの心を通い合わせ、地域社会の皆さんと文化芸術で一つになる真の交流の場となりました。

2015年からホ・ヨンガン先生のきめ細やかな指導のもと、たゆまぬ努力で舞踊を学び、成長してきたヨン舞踊団は、韓国舞踊特有の優雅さと情緒を繊細に表現しました。

この日の公演は、共に頑張ってきた障がい者の皆さんの努力の成果であり、小さな奇跡の瞬間でもありました。

木浦障害者療養院（重度障害者施設） ご利用者のプロフィール写真撮影

〔後援：パラボム写真館〕

1月19日、事業収益を社会貢献や公益活動に還元しているパラボム写真館の方々が当施設を訪問し、最重度の寝たきりの障がい者の写真撮影をしてくださいました。写真家のナ・ジンスさんが撮影した写真をその場で現像し、額に入れてプレゼントしてくださいました。

素敵な笑顔と幸せな2026年の瞬間を細やかに捉えてくださり、自分の写真が入った額を眺めながら喜びを隠しきれないご利用者の姿に、幸せを感じる一日となりました。



皆様のご支援に感謝申し上げます

2025年12月～2026年1月 寄付合計 3,050,672円

| | | | |
|----|----------|----|------------|
| 堺 | 261,389円 | 京都 | 872,302円 |
| 大阪 | 0円 | 東京 | 377,000円 |
| 神戸 | 397,981円 | 法人 | 1,142,000円 |

2025年12月～2026年1月の寄付者 (敬称略)

| | | | | | |
|-------------|-------------|------------|--------------|-------------|-------------|
| 菅野 俊美 | カトリック | 日本キリスト教会 | 岡 真由美 | 北脇 志郎 | 宮原 智文 |
| 松本 光恵 | 聖母奉獻修道会 | 福岡城南教会 | 田内 緑 | 北脇 要子 | 峯岸 義則 |
| 池田 利昭 | 高林 實結樹 | 李 清吉 | 瀧澤 織衣 | 埼玉・コア21 | 財団法人 聖バルナバ |
| 牧角 雅子 | 李 善恵 | 新井 伶子 | 竹井 光江 | 小川 満 厚子 | 病院サマリヤ会 |
| 多田出 佳代子 | ながやま歯科 院長 | 柳 律子 | 株式会社スポーツ寿苑 | オートプロ島田 | 高山 淑子 |
| 佐藤 友美 | 永山 成大 | マリアの御心会 | 代表取締役社長 | 島田 隆男 | 田内 文枝 |
| 大澤 勝哉 | 村上 文子 | 林 光行 | 鄭 貞子 | 青木 茂 | 澤田 和代 |
| 梅宮 玉枝 | 元 花子 | 特定非営利活動法人 | 故郷の家 神戸募金箱 | 吉澤 まゆみ | 木田 清人 |
| 観寺 伊津美 | 和音情 | 釜ヶ崎支援機構 | 大韓老人会日本連合会 | 堺募金箱 | 長田 彰文 |
| 鈴木 仁 | 藤原 一臣 | 山田 實 | 京都支部 | 高山 きを子 | 平田 由紀子 |
| 田中 伸枝 | 李 守陳 | 田中 茂太郎 | 河 久子 | 中川 浩一 | 傳田 綾子 |
| 桑山 敬己 | 中村 啓子 | 宗教法人日本バプテ | NPO 法人 東九条まち | 朝陽不動産株式会社 | 株式会社ツイインズジャ |
| 岡野 和子 | 藤田 裕之 | ト連盟 大阪中央バ | づくりサポートセン | 浅野 和子 | パン |
| 姜 和夫 | 星田 正雄 | プテスト教会 | ター | 株式会社グローバル | ディーアンド・エージェ |
| 古澤 一 | ベン株式会社 | 安部 能成 | 金一志韓国伝統芸術院 | 代表取締役 | ンシー 代表 |
| 畑中 文子 | 金氏高麗人参株式会社 | 日本キリスト教会 | 趙 敬鎮 | 川島 忠義 | 呉 大煥 |
| 本河 みぎわ | 有限会社テラヲ貨物店 | 大阪姫松教会 | 田中 富美子 | 三森 明子 | 在日大韓基督教 |
| 中野 敏彦 | 在日本大韓民国婦人会 | 森田 光明 | 岩本 菊江 | 趙 玉順 | 京都教会 |
| 福田 孝雄 | 兵庫県地方本部 | 岡本組株式会社 | 大伸株式会社 | 野田 和男 | 宮本 浩吉 |
| 日本基督教団 | 「ハートサービス運動」 | 枝川 愛の教会 | 王 寛一 | 新檜尾台校区共同募金会 | 田内 基 |
| 森小路教会友愛会 | 募金箱 | 都賀 潔子 | 蔡 福美 | 遠藤 富美子 | 在日本大韓国民国民 |
| 小林 四郎 | 林 竜弘 | 姫路ビジョン教会 | 松下 令子 | 在日大韓基督教会 | 東京台東支部 |
| 富士吉田キリストの教会 | 大阪聖アンデレ教会 | 株式会社ヤマエンター | 柳川 良子 | 神戸教会 | 金 成学 |
| 箭野 信敏 | 婦人会 | プライズ 代表取締役 | 故郷の家東京 募金箱 | 日本基督教会 | 佐藤 美津子 |
| 箭野 京子 | ドミニコ会 | 池 正興 | コア薬局 光明池店 | 福島伝道所 | |
| 上石 隆雄 | 聖ヨゼフ修道院 | 藤原 潤 | 小林 孝志 | 門川 大作 | |
| 上石 史子 | 高須 俊明 | 磯貝 英雄 | | 門川 都 | |

2025年12月～2026年1月の寄贈者 (敬称略。すべての方のお名前を記しているわけではございません。ご了承ください)

| | | | | | |
|--|--|--|--|--|---|
| ■故郷の家(堺) 野中 勝喜ご家族 柳生 民枝ご家族 田中 キマ子ご家族 澤田 和代ご家族 堀尾 寛治ご家族 岩川 善嗣ご家族 中村 美智子ご家族 宮崎 泰ご家族 山田 徳次ご家族 戸川 誠ご家族 竹井 光江ご家族 武吉 文子ご家族 松葉 恵美子ご家族 橋上 千代美ご家族 柳生 民枝ご家族 嶋田 喜久子ご家族 木幡 忠ご家族 寺谷 起代子 野村 千恵子 山下 邦子 山本 昭子 在日本大韓国民国民 大阪府本部 金 明弘 | 三育サミュク大学 福祉学科生 あゆみ介護センター 永山歯科 湯川齒科 仏光殿 訪問美容 door&Q 様 泉北陣内病院 馬場記念病院 グリーンスタイル ダイキチカバーオール サンビクトリー ユニチャーム ワタキューセイモア | 湊 正行 川嶋本店 (株)テストイパル 中村 仁昭 タカギエレクトロニクス 西神戸高等特別支援学校 平安祭典 松下 裕夫 青田 都子 藤田 チェコご家族 金 泰淑 池田 孝志 井川 タカ子 | 竹田 光世ご家族 石原薬局 白川 百余ご家族 大韓シルバ一会 京都支部 安東 千代子ご家族 ワタキュー 日高 末子ご家族 医療法人同仁会 赤井 美和子ご家族 株式会社ダイキチ 倉田 峯子ご家族 株式会社京都建築事務所 西山 春子ご家族 林 順子ご家族 南 奇順ご家族 玉川 久子ご家族 田花 安子ご家族 村田 秀子ご家族 山井 久子ご家族 田中 つよご家族 岩本 義一ご家族 羽谷 守子ご家族 岩本 勝夫ご家族 | 嘉門 和美ご家族 森山 己淑ご家族 松田 耕一ご家族 栗原 美代子ご家族 原 良ご家族 竹本 年行ご家族 武本 鶴子ご家族 張 連順ご家族 松本 花子ご家族 村田 智子ご家族 | 瀧澤 トミ子ご家族 佐藤 那可子ご家族 海發 孝子ご家族 中出 外史郎ご家族 山崎 好子ご家族 肥沼 トミ子ご家族 中島 満ご家族 日本コロムビア歌手 金嶋 昭夫 Ohana治療院 平安祭典 ekoデンタルクリニック 院長 高垣 江津子 医療法人社団 修世会 木場病院院長 大井田 基 株式会社 テスティパル 聖華しおかぜ保育園 株式会社 MALON I C. |
| ■故郷の家・京都 藤辻 一夫ご家族 木下 綾子ご家族 安本 美智子ご家族 田中 泰一ご家族 松下 すみ子ご家族 國富 節子ご家族 東前 綾子ご家族 大坪 薫ご本人 吉永 節子ご家族 | ■故郷の家・神戸 大村 春子 山下 実千代ご家族 岩本 文枝 中田 康子 羽谷 宗一郎 酒部 和子 金 又姫 協同病院 | ■故郷の家・京都 鄭 仁淑(カラオケ) 「懐メロ聴くの会」3名 (カラオケ) 京都 PANA-ALC 4名 (傾聴ボランティア) | 和音情 9名 (ハーモニカ演奏) めぐみ教会 10名(讃美歌) 金ウソン、ルビン | ■故郷の家・東京 中島 榮美(生け花) 山本 朝子(生け花) 坂巻 信幸 | |

2025年12月～2026年1月の来訪者・ボランティア (敬称略)

| | | | | | |
|---|--|-----------------------|---|--|--|
| ■故郷の家(堺) アミーゴ川添 いずみチャペル 泉北キリスト恵み教会 松本 光恵 | 小田 ヒターナ ■故郷の家・神戸 サランの会 (岸田重徳他8名) | 神戸教会 (李信子、朴桂子、尹孝仁) | 鄭 仁淑(カラオケ) 「懐メロ聴くの会」3名 (カラオケ) 京都 PANA-ALC 4名 (傾聴ボランティア) | 和音情 9名 (ハーモニカ演奏) めぐみ教会 10名(讃美歌) 金ウソン、ルビン | ■故郷の家・東京 中島 榮美(生け花) 山本 朝子(生け花) 坂巻 信幸 |
|---|--|-----------------------|---|--|--|

◆◆◆ クロスワードパズル ◆◆◆



プレゼント



正解者の中から2名様に、東映の「仁義なき戦い」2026年カレンダーをプレゼント。「仁義なき戦い」シリーズのポスターと、毛利清二氏による刺青の原画を使用したユニークなカレンダーです。

応募は、クロスワードパズルの答、住所・氏名・電話番号をお書きのうえ、はがきなら〒590-0142堺市南区檜尾3360-12「故郷の家・クイズ係」へ、メールでの応募は news@kokorono.or.jp へどうぞ。4月10日締め切り。

本誌をお読みになった感想、メッセージなどもどうぞお書き添えください。よろしく！

二重マスの文字を組み合わせてできる言葉を教えてください。

【ヒント=春がきた】

※前回の答は「ネショウガツ(寝正月)」でした。

→ ヨコのカギ

- ①和歌山や愛媛が大産地です。
- ③——暖房、——下収納。
- ⑤保元、平治、応仁といえよ。
- ⑥マツタケの——蒸し。
- ⑦ちよつと雨宿りを。
- ⑨「——の風になって」
- ⑩昆虫。砂糖が好き？
- ⑪紅白歌合戦でもいますね。
- ⑬基礎とか土台のこと。

| | | | | |
|----|---|----|----|---|
| 1 | 2 | | 3 | 4 |
| 5 | | | 6 | |
| 7 | | 8 | | |
| | 9 | | 10 | |
| 11 | | | 12 | |
| | | 13 | | |

↓ タテのカギ

- ①冬季オリンピックが開かれました。
- ②キッチンや浴室などにありますね。
- ③「親」「中」「葉」といえよ。
- ④地面に円を描き、そこに缶を置いて……
- ⑥縄文式とか弥生式とか。
- ⑧ワラビやゼンマイ、フキノトウなど。
- ⑩果物。ジャムやドライフルーツにも。
- ⑪植物。赤と青がある。
- ⑫——の上にも3年。

「故郷の家」では共に働く仲間を募集しています

- ◆人と地域に寄り添う、心温まる仕事です！
- ◆文化的なプログラム(行事)も豊富で楽しい職場です！

施設見学
随時受付中！
お気軽に

お問い合わせ先：大阪府堺市南区檜尾3360-12
法人本部事務局 松下宛
TEL:072-271-0881 FAX:072-271-5474
メールアドレス：honbuzimukyoku@kokorono.or.jp

こころの家族のサポーターになってください

- A) 愛の寄付金 …………… 自由な金額
- B) 遺贈寄付 …………… 自由な金額
- C) 相続寄付 …………… 自由な金額
- D) 賛助会員 …………… 月 1,000 円 (年 1 万 2 千円)
- E) 奨学会会員 (留学生や孤児・障害児支援) …… 月 5,000 円 (年 6 万円)
- F) 1% 会員 (所得、売上、祝儀、遺産、感謝)
- G) 1 坪会員 (施設の新築・改築や環境改善支援) …… 30 万円

ご送金の方法

郵便振替 □座番号：00940-0-329280
加入者名：社会福祉法人こころの家族
銀行振込 銀行名：三菱 UFJ 銀行
支店名：光明池支店 普通 1052623
口座名義：社会福祉法人こころの家族

お気軽に
お問い合わせ
ください。

故郷の家のご利用相談や
寄付、困っている高齢者、
留学生、外国籍の方も

- 故郷の家(堺) 朴正米(施設長)
大阪府堺市南区檜尾3360-12 TEL 072-271-0881
ブログ <http://kokyosakai.blog40.fc2.com/>
- 故郷の家・神戸 松下良平(施設長)
兵庫県神戸市長田区東尻池町7-4-21 TEL 078-651-1555
ブログ <http://kokyokobe.blog40.fc2.com/>

- 故郷の家・京都 藤原一臣(特養施設長、ケアハウス施設長)
京都府京都市南区東九条南松ノ木町47 TEL 075-691-4448
ブログ <http://kokyokoyoto.blog41.fc2.com/>
- 故郷の家・東京 高橋千津子(特養施設長)
塩川優子(ケアハウス施設長)
東京都江東区塩浜1-4-48 TEL 03-3644-0555
ブログ <http://kokyotokyo5.blog.fc2.com/>

本法人は統一教会とは関係ありません

発行人：田内文枝 編集人：田内基 編集：佐東まゆみ
法人本部 〒590-0142 大阪府堺市南区檜尾3360-12 ☎072-271-0881 Fax 072-271-5474
<https://www.kokorono.or.jp> E-mail: kazoku@kokorono.or.jp

在日韓国老人ホームを作る会の働きにより「こころの家族」が誕生しました。 お読みになった後はお隣の方にもおまわし下さい

